



# オリーブ便り Olive News

2019.06.01

No. 420



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 横見瀬 裕保

**基本理念**

患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

## 難病診療連携拠点病院としての本院の活動

香川大学医学部 医療支援課

### ◆ 難病対策の推移

わが国で「難病」という言葉がよく使われるようになったのは、昭和40年代で、スモンという病気が契機となっています。当初は病気の明らかな原因が不明であったため、ウィルスが原因と疑われたことから、患者が社会的阻害を受けたことなどが社会問題となりました。原因解明と治療方法についての研究が進められ、この取り組みが難病対策の発展の大きな推進力となり、昭和47年に難病プロジェクトチームが設置され、その検討結果として「難病対策要綱」が策定されました。その後、難病研究の進展とともに、研究対象とする病気の数は徐々に増加し、数百の病気について疾患概念の確立や治療法の開発などの研究が進められることとなりました。平成27年1月に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行されました。難病の医療提供体制のあり方については、「難病の患者に対する医療等の総合的な推進を図るための基本的な方針」に基づき平成30年度より、地域の実情に応じた新たな難病の医療提供体制の構築及び推進を図るものとされました。以上の経緯から、本院は平成31年4月1日付けで、香川県難病診療連携拠点病院に指定されました。

### ◆ 難病の診療体制

難病診療連携拠点病院として求められる機能は以下のとおりとなります。

#### 1) 診断・相談機能

一般病院等からの診断・治療が必要な患者の受け入れ、治療が可能なより患者に身近な医療機関への紹介、難病医療支援ネットワークとの連携、遺伝子診断に係るカウンセリング

#### 2) 教育機能

難病診療分野別拠点病院、協力病院・診療所、一般病院、診療所、医療・介護・福祉等関係者、難病相談支援センターに対する教育

#### 3) 情報収集

香川県内の医療機関の診療体制に係る情報収集

これらの機能を果たすために、病院内に難病診療連携コーディネーターが2名配置されました。また、難病相談窓口が設置され、難病の患者または家族からの医療に対する疑問や不安、医療費助成等に関する相談に対応するほか、相談内容によっては、難病相談支援センターその他の適切な機関を紹介するなどの業務を行います。



相談内容：申請のこと・病気のこと  
治療のこと・療養のこと  
その他

相談時間：9:00～17:00

相談場所：香川県木田郡三木町池戸1750-1

香川大学医学部附属病院内

総合地域医療連携センター

直通電話(087-891-2363)

担当者：難病コーディネーター



難病支援マスコット  
ナンシーちゃん

### 診療科長の横顔

#### 座右の銘、ポリシー

座右の銘は、“No man alone”です。「決して1人では成し遂げられない」に基づいて、医局員、他科、他職種の方々と連携、協力して診療を行っていきたいと思っています。

#### 診療科紹介

患者さん中心の良質かつ最新の脳神経外科治療として、MRI手術室、ハイブリッド手術室を活用したナビゲーション、モニタリング、覚醒下、内視鏡等の最先端手術、救命救急センターと連携した血管内手術による脳卒中治療、放射線科と連携したPET検査による診断、小児科と連携した小児脳神経外科疾患治療、麻酔科と連携した脊髄漏出症治療、リハビリテーション部と連携した高次脳機能障害診療等の診療を行っています。今後共よろしくご協力の程お願い申し上げます。

### 師長の横顔

#### 座右の銘、ポリシー

「患者の気持ちに寄り添った看護」をモットーに、時には一緒に悩み、時には一緒に喜び多職種で語り合いながらチームワークを高めています。

#### 病棟紹介

南病棟4階は、脳神経外科・脳神経内科、共通病床の43床の病棟です。脳・脊髄・神経疾患の診断や治療を受ける方から、機能回復のリハビリテーションまで、さまざまな疾患をかかえた方が対象となっています。また脳疾患の特徴から、運動機能障害だけでなく、認知機能障害、言語障害など複数の障害から生活支援が必要となることが多くみられます。小さな変化を見逃さず、急性期の早期発見に努めるとともに、住み慣れた地域や在宅に帰るための支援を医療チーム一丸となって行っています。



香川大学医学部  
脳神経外科学  
教授 田宮 隆



香川大学医学部附属病院  
南病棟4階  
師長 森 郁代



南病棟4階 スタッフ集合写真



南病棟4階 スタッフ集合写真

平成30年10月14日に開催された「イキイキサぬき健康塾」において、当院の腎臓移植と膵臓移植の取り組みや現状を紹介させていただきました。移植医療に携わる複数の診療科、部署が強くタッグを組んで開催し、ご参加いただいた多くの市民の方々に興味を持っていただくことができました。内容を抜粋し報告致します。

### ●腎移植に関して ～腎臓内科医の立場から～

香川大学医学部附属病院 腎臓内科 講師 祖父江 理

腎移植は末期腎不全患者の寿命を延ばす治療です。ドナーさえいれば、透析を経ない未透析移植が最も優先される腎代替療法になります。iPS細胞からの腎臓再生はまだまだ先の話なので、献腎移植(心停止下・脳死下)を増やすための活動も行っています。今は生体移植中心で行っています。

### ●腎移植に関して ～移植医の立場から～

香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科 准教授 上田 修史

腎移植は末期腎不全患者に是非行うべき医療であり、悪性腫瘍や治療中の感染症などがなければ移植できる可能性は十分あります。免疫抑制剤を使用するため、特に移植後半年くらいは感染症に注意が必要です。全国でも当院でも生体腎移植がほとんどですが、ドナーも術前に十分な検査をして安全を確認してから腎提供していただきます。

### ●膵臓移植に関して

香川大学医学部附属病院 消化器外科 助教 大島 稔

膵臓移植はインスリン分泌が枯渇し、インスリン注射による厳重な血糖管理が必要となる1型糖尿病が対象となります。糖尿病性腎障害により透析が必要となっている方に対しては、膵臓腎臓同時移植が適応されます。膵臓腎臓同時移植はインスリン注射と透析から解放され、QOLが改善するのみならず、糖尿病合併症の悪化を防ぐことにより、生命予後の延長が期待できる医療です。

### ●レシピエント移植コーディネーターに関して

香川大学医学部附属病院 看護部 レシピエント移植コーディネーター 中川 香織

レシピエント移植コーディネーターは、臓器移植を受ける患者さんやそのご家族のケアをおこなっています。移植を受けたい方が自由に意思決定できるように移植に関する情報を提供し、実際に移植を受けたあと、免疫抑制剤内服を含めた自己管理を支援します。移植に関する費用、膵臓・腎臓登録に関するご案内もおこなっています。

第40回イキイキサぬき健康塾(平成30年10月14日開催)の講演内容を要約したものです。



## 2019年4月1日に東病棟1階が開設されました

香川大学医学部附属病院がんセンター 助教 奥山 浩之

病院再開発整備のため改修工事を行っていた東病棟1階が4月1日に完成しました。当病棟は14床からなり、腫瘍内科の病床数は10床です。当科は、地域の医療機関と連携して、専門性の高いがん診療を行っています。最適ながん医療を提供するためには、診療グループ内で治療方針を十分に検討し、さらに多職種で協働することで、身体的な問題のみならず、心理社会的な問題なども含めてサポートすることが重要と考えています。また、治療方針については、ご家族を含めて患者さんと十分な時間をかけて面談を行い、患者さんのご希望も含めて最適な選択ができるようにする必要があります。これらを実現するために、14床と小規模な病棟ではありますが、多人数で会議を行うことのできるカンファレンスルームや、プライバシーの保たれた面談室を2室備えています。また、小規模ゆえに非常に静かで行き届いた療養環境をご提供できると考えています。今後もよりよいがん診療ができるようにスタッフ一同努めて参ります。よろしくお願いいたします。

香川大学医学部附属病院東病棟1階 師長 本多 美枝

東病棟1階は、腫瘍内科、放射線診断科、麻酔・ペインクリニック科の14床と外来の患者さんが治療を受ける化学療法室がひとつになった病棟です。

がん化学療法、放射線治療（小線源治療・ヨウ素内用療法）、神経ブロックなどの治療をはじめ、がんと診断されたときから痛みなどの苦痛な症状を和らげる緩和ケアまで、幅広い病態の患者さんを対象としています。外来化学療法室と病棟がひとつになったことで、外来通院中から関わっている看護師が入院中も継続してケアを提供できるため、安心感につながっています。

私たち看護師は、患者さんにご家族の思いに寄り添い、「その人らしく生きる」ことを支えられるように心がけています。また、東病棟1階には経験豊富な看護スタッフとがん化学療法看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師などの専門的な知識を有する看護師が協力して患者さんに質の高い看護を提供しています。



東病棟1階 スタッフ



外来化学療法室の風景

### イベントカレンダー 2019.6~7月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
6/9 日	11:00~12:00	丸亀町レッツホール	イキイキさぬき健康塾 (知って得する脳卒中のこと)	総務課	(087)891-2008
6/13 木	14:00~15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と医師が話をさせていただきます。	臨床栄養部	(087)891-2066
6/13 木~ 6/15 土	未定	かがわ国際会議場 サンポートホール高松 JRホテルクレメント高松	第31回 日本肝胆膵外科学会・学術集会	消化器外科学	(087)891-2438
6/27 木	14:00~15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と検査技師が話をさせていただきます。	臨床栄養部	(087)891-2066
7/11 木	14:00~15:10	西病棟1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と医師が話をさせていただきます。	臨床栄養部	(087)891-2066
7/14 日	11:00~12:00	丸亀町レッツホール	イキイキさぬき健康塾 (もっと知って悩みを解決おしこの仕組みとトラブルの原因)	総務課	(087)891-2008
7/25 木	14:00~15:10	西病棟1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と歯科衛生士が話をさせていただきます。	臨床栄養部	(087)891-2066

編集委員会 (50音順)

(H31.3現在)

荒井(検査)、大高(医療支援)、加賀宇(総務)、岸野(病棟)、日下(副病院長)、笹川(放射線)、田川(管理)、田中(看護)、富田(経営)、濱本(外来)、芳地(薬剤)、横井(情報)、吉野(医事) [委員長 横見瀬病院長]